

東映アニメーションと共同開発した“初”の中国市場向けスマートフォンゲーム  
『ロボットガールズ Z』、2015年度 DoNews 牛耳賞で  
最優秀モバイルゲーム賞を受賞

日本のアニメやゲームコンテンツの中国展開をサポートする株式会社アクセスブライト（本社：東京都港区、代表取締役社長：柏口之宏）では、東映アニメーション株式会社（以下、東映アニメーション）との共同事業による初の中国市場向けスマートフォンゲーム『ロボットガールズ Z』が「2015年度 DoNews 第六回インターネット業界牛耳賞」において、2015年度最優秀モバイルゲーム賞を受賞しましたのでお知らせします。

中国の大手インターネット企業である多牛伝媒が主催する DoNews インターネット業界牛耳賞は、その年に最も活躍したネット関連の企業や人物、傑出したゲーム作品に贈られる賞です。中国で最も権威と影響力をもつ賞とされ、過去には李彦宏氏（百度 創設者）、池宇峰氏（完美世界 代表取締役）、楽視 CEO・賈躍亭氏（楽視 CEO）、王峰氏（藍港互動 CEO）などが受賞しています。

このたび、当社が2015年10月より中国で展開している『ロボットガールズ Z』オープンα版が高く評価され、2015年度の最優秀モバイルゲーム賞を受賞することになりました。

受賞理由として、『ロボットガールズ Z』が日本のアニメの世界観と中国ユーザーの嗜好に合ったゲーム性の両立を体現した点が挙げられます。本作は森山義秀アニメプロデューサーをはじめ、東映アニメーションのスタッフとアクセスブライトのゲーム開発スタジオが共同で、ゲームの世界観、原画、美術エフェクトなどを制作し、アニメのストーリー、ステージ、キャラクターを忠実に再現しています。また、中国でのクローズドβテストの結果をもとに中国ユーザーの声を反映してシステムの改良を加えており、中国市場への徹底した調査をふまえたうえで、中国のゲームユーザーに支持されるゲームの開発を行っています。

2016年1月中には、オープンα版をもとにした正式版が中国国内において配信される予定です。



今回授与されたトロフィー

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社アクセスブライト 広報部

TEL : 03-6712-8508 E-mail : pr@accessbright.com